



日本と母国との懸け橋となる
グローバルビジネスコースの
留学生に、皆様のあたたかい
ご支援をよろしくお願いいたします。

公立大学法人兵庫県立大学

理事長

五百旗頭 真

学長

太田 勲



兵庫県立大学では、急速なグローバル化の進行と情報科学の飛躍的な発展という、世界の趨勢に関わる2つの大きな変化に対応した改革を進めるため、経済学部と経営学部を再編し、2019年4月に「国際商経学部」と「社会情報科学部」を開設しました。

特に国際商経学部におきましては、真に国際社会で活躍できるグローバル人材の養成をめざし、全ての授業を英語で行う「グローバルビジネスコース」を開設しています。

当コースでは、ASEAN諸国を中心とした30名の留学生と50名の日本人学生が本学キャンパスに新たに整備される国際学生寮（2019年9月竣工）での共同生活を通じ、互いに切磋琢磨しながら、グローバルリーダーとしての能力を身につけていきます。

また、留学生は日本企業でのインターンシップや国内外におけるフィールドワーク、そのために必要な日本語教育など実社会で役に立つカリキュラムを学んでいきます。

当コースを卒業する留学生は、①英語、母国語及び日本語に堪能であり、②経済・経営の専門教育を受け、③コミュニケーションの取り方など日本の文化を心得ており、④母国及び同窓生との豊富なネットワークも有するなど、他の学生にはない特徴を持っています。

日本と母国との懸け橋となり、両国の発展と友好交流での活躍が期待されるとともに、企業・団体様にとっては、事業のグローバル展開や海外拠点の事業運営において中心的役割を担うなど貴重な戦力になるものと確信しています。

現在、各国から熱意ある学生が入学を希望していますが、アジア圏においては、成績が優秀であっても経済的には厳しい環境下で生活している学生も多く、そうした学生のサポートを行うため、基金（グローバルビジネスコース留学生支援基金）を新たに立ち上げ、県内外の企業の皆様をはじめとする各界の皆様からのご寄附を広く募ることと致しました。

ご寄附は同基金に積み立て、日本で生活を始めるにあたり必要となる費用（教科書、PC、寝具購入費等）を支援する「スタートアップ奨学金」などに活用させていただきます。

皆様におかれましては、新たな学部・コースの設立趣旨をご理解いただき、ご支援・ご協力賜りますよう切にお願い申し上げます。